

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

令和7年4月2日

(宛先)岡崎市長

団体名 JA あいち三河助け合いの会 いなほの会

代表者 鈴木 ミツ子

構成員 55 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。
 少子高齢化社会に対処するために組合員とその家族、地域住民が お互いに力を合わせ、助け合い活動を通じて安心して暮らせる 心豊かな地域作りを進める。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数*1	活動内容
毎月第1火曜日	JAあいち三河 美合支店2階研修室	地域高齢者	約(7人)	ミニデイサービスを実施しており、 筋力アップの体操やストレッチ
毎月第2火曜日	中部学区市民ホール	"	(8人)	折り紙、手芸、ゲームなどを行って
毎月第2木曜日	真伝郵便集会所	"	(6人)	いる。おやつやお茶でゆったりと お話しする場とされている。
毎月第4火曜日	44のふれあい センター	"	(6人)	
毎月第4水曜日	真伝ついの会館	"	(4~5人)	

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

一人きりで家にいるのを好まず、外出をする機会を作ること、色々なことを経験し、出会い、
 関わることで月齢を活性化させた。また参加することで、地域住民同士のつながりも生まれた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)
 高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。
 各地区のミニデイサービスではスタッフ同士の交流や利用者間での交流や親睦も深まり、楽しい場
 場となっている。また、次年度もぜひ続けたいという声もたくさんいただき、公益性も高いと
 思える。楽しく体を動かしたり、歌いながら、生きがいづくりの場となっている。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。